

## — 節分祭・火焼神事 —

平成24年2月3日

阿蘇神社 <http://asojinja.jp/>

# 社報 あそみや

平成24年3月20日

第 54 号

発行所

阿蘇神社社務所  
多良見町化屋862  
☎ 0957-43-5235

## 検定試験

阿蘇神社

宮司 大 島 大 明

検定試験というとどのような検定を思い浮かべるでしょうか。就職に役立つ資格取得の検定から、ご当地検定・趣味の検定と調べてみると、まさに多種多彩の検定試験が全国各地で行われています。

神社界でも「神社検定」を今年から開始することになりました。

今年は三級の検定を開催、次年度以降に二級・一級の検定を開催するとのことです。試験は全国二十五都市で開催（長崎市でも開催予

定）されることがあります。近年「パワースポット」がブームとなり、神社仏閣への参詣が全般的に増加しており、「神社検定」が神社への更なる参拝者数増加へつながればと願っています。

「神社検定」の公式テキストは「神社のいろは」・「神話のおへそ」の二冊（扶桑社刊）で、全国の書店で販売されます。神社検定にチャレンジしては如何でしょうか。詳細は社務所までお尋ね下さい。

### 敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかけて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと  
一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと  
一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

## 恒例 節分祭志なく終了!!

諫早市の代表的迎春行事である阿蘇神社の節分祭が、去る二月三日に斎行されました。寒波の来襲で前日まで雪が降るなど寒の厳しい日が続いてましたが、節分当日には天候も回復、境内には一年間の福を求めて多くの参拝者が訪れました。

午後五時に本殿で祭典が斎行され、宮司が氏子崇敬者の今年一年間の開運招福・家内安全を祈念する祝詞を奏上、神社総代他参列者が玉串を捧げ拝礼をしました。

午後五時三〇分、前田信太郎総代会長が特設舞台から節分祭諸行事の開会を宣言、引き続き境内の斎場で旧年中の御神札・御守・熊手などを焚き上げる火焼神事（ほやきしんじ）が行われました。

午後六時から豆撒き行事が行われ、袴を着け殿内での神事を終えた年男・年女が三回にわかれて境内の特設舞台から豆撒きを行いました。一回目の豆撒きには、V・ファーレン長崎の佐藤由紀彦選手と持留新作選手が参加、参拝者より大きな声援を受けていました。



— 殿内での神事・まめ打ちの儀 —

午後五時に本殿で祭典が斎行され、宮司が氏子崇敬者の今年一年間の開運招福・家内安全を祈念する祝詞を奏上、神社総代他参列者が玉串を捧げ拝礼をしました。

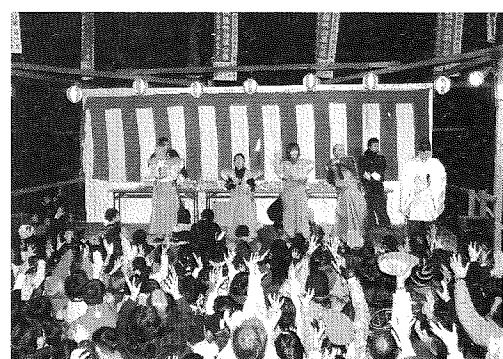
午後五時三〇分、前田信太郎総代会長が特設舞台から節分祭諸行事の開会を宣言、引き続き境内の斎場で旧年中の御神札・御守・熊手などを焚き上げる火焼神事（ほやきしんじ）が行われました。

午後六時から豆撒き行事が行われ、袴を着け殿内での神事を終えた年男・年女が三回にわかれて境内の特設舞台から豆撒きを行いました。一回目の豆撒きには、V・

V・ファーレン長崎の昇格と両選手の活躍を祈りたいと思います。境内には多良見町商工会の青年部、女性部などの出店が並び大いに賑わいました。

三回目の豆撒き終了後には、法被姿の神社総代が舞台上に上がり、一年間の幸運を願つて、毎年の今年は三十六袋の紅白の餅を撒き、節分の全行事を終了しました。

節分行事の開催に当たり、準備から後片づけまで神社総代及び評議員、商工会青年部・女性部など多くの方々にご協力とご支援をいたきました。



— 特設舞台からの豆撒き —

福豆の景品の提供、特別協賛金をいただいた商店・商社は以下の通りです。御礼を申し上げます。

### ◇ 節分祭景品提供商社芳名 ◇

《順不同 敬称略》

V・ファーレン長崎、花椿、もうおか薬品、まつもと君、㈱タナカ自動車、コー・ポさくら（西村八郎）、㈱ナカムラ、㈱溝上建設、高屋設備、長崎新聞喜々津販売センター、松尾ビル・松尾睦子

以上



— 出店は盛況でした —

V・ファーレン長崎、㈱丸信、井手陶器店、おそうじ本舗、十善商店、木村装束店、㈲モールアーム、たちばな信用金庫、阿蘇神社総代会、㈱マツシヨウ、おむすぶころりん、㈲三伸電機、十八銀行、森田薬局、

親和銀行、シユーズのあづま屋、㈱森開発、㈱森住宅、グリーング拉斯、阿蘇神社、共栄住宅㈱、(有)

あづま屋、長崎産機サービス、揚子江、事務機のミヤジマ、九州ガス㈱、たらみ葬儀社、大草自動車整備工場、チャイナハウスあすか、もり玩兎店、センターロード工業

長崎、みのる塾、多良見住宅、やまさき写真室、㈲菅原産業、スナックいちごや、㈲喜々津青果、㈲丸創建材店、蓮創アルミ、㈱虹の設備、㈲南部建設工業、はんセン

ターサン美堂、㈱長崎スクランプセンター、㈲清紀運輸、㈲後田塗料商事、まるかわ産業、レストラン松新、㈲みづほ、㈱ジー・ゼブン、

㈱ナカムラ、㈱溝上建設、高屋設備、長崎新聞喜々津販売センター、

松尾ビル・松尾睦子

◆節分祭特別協賛商社芳名◆

《順不同・敬称略》

・関山祥一(長崎市)・㈱森商会・

㈱溝上建設・ますだ小兒科内科医

院・共栄機械工事㈱九州支店・ア

ルフア印刷・㈲徳永自動車・松屋

眼科医院・喜々津青果・たか動

物病院・黒木建設㈱・㈱森住宅・

喜々津カントリー俱楽部・㈱雄苑

・総合アルミ・㈱カステラ本家福

砂屋多良見工場・喜々津美容室・

大石ボディ・㈱石橋工業・中村

医院・㈱唐草・㈱森開発・山口歯

科医院・㈲南部建設工業・松尾装

・喜々津新報販売センター・㈱小島

工作所・㈲やまぐち住建・㈲カー

センター・エー・ピー・多良見住宅

・㈲もろおか薬品・犬尾胃腸科外

科医院・山崎活魚店

以上

## 平成二十四年 紀元祭を斎行！

二月十一日は神武天皇が奈良県  
橿原の宮に即位された記念日で、

今年は皇紀二六七年に当たります。

先ず宮司が先人の建国の苦労を

偲ぶとともに、皇室の弥栄と氏子崇

敬者を始めすべての国民の幸を祈

る祝詞を奏上、引き続き喜々津邦

樂愛好会(吉見哲山会長)五名によ

り尺八の奉納演奏が行われました。

「越天樂」「八千代」と二曲を神前

に奉奏、引き続き尺八の伴奏で「紀

元節の歌」を参列者全員で声高々

に齊唱しました。

紀元祭に際し以下の通り初穂料

◇ 献酒 ◇ 大久保クリニツク・㈱アサヒ  
店長 伊藤雅博 以上

十二月三十一日 初詣客の接待他

午後十一時に神社に集合、かが

及び奉獻酒を賜りました。《芳名  
を記しお札を申し上げます。

◆初穂料◆《敬称略・順不同》

白石幸男・嶋田弥八郎・山中征二

・多良見漁協組合長 木下和幸・

有森商会 森 誠司・松尾一彦・

草野 繁・相川十九生・喜々津三

曲会・中村眞夫・北島守幸・山口

初實・後田國光・福井俊・山田

豊明・上之睦・前田信太郎・吉

野 徹・松尾清人・大久保治賢・

宮嶋 博・向井徳磨 以上

十二月二十九日 正月前飾り付け

鳥居他に注連縄を取り付け、竹

や椎の木の飾り付けを行います。  
また門松を仕上げ、正月用のテ  
ント・看板なども設置します。

十二月三十一日 初詣客の接待他

午後十一時に神社に集合、かが

### 総代会の会計について

総代会の会計について問い合わせ  
せも時折いただきます。

総代会の会計(予決算)、祭事及  
び活動(予定及報告)は、会計年  
度の終了後に監査を受け、評議  
員会で審議し承認を受けること  
となっています。

総代会から氏子各位に直接報告  
をすることはありませんが、不明  
な点があれば、神社評議員様  
または神社総代、神社社務所ま  
でお尋ね下さい。

### 5 総代会便り

近年総代会の活動を含め、神社  
の行事等への問い合わせが多くな  
りました。氏子の皆様に関心を持っ  
ていただきこたは、神社としても  
喜ばしいことであり、平成二十三  
年度の概要を記します。

※十月分まではあそみや五十二  
号に掲載済みのため割愛。

り火など参拝者への暖の提供、  
午前〇時に鏡割りを行つて、參  
拝者へ御神酒を振る舞います。

### 二月三日 節分祭

節分祭当日は火焼神事の準備か  
ら終了までの火の管理、舞台の  
飾り付け、参拝者の安全保持な  
ど総代の仕事は多岐にわたりま  
す。

### 十一月二十三日 新嘗祭

一般的には新穀の感謝と諸産業  
の発展を祈る祭ですが、当社で  
は田植え後に行われる田祈禱祭  
(願掛け)の御礼の祭(願成就)と  
して行われています。

### 十二月二十三日 注連縄作り

平成十二年の評議員会で、経費  
の削減のため、外注を止めて全  
員で作るうと決定されました。

二月五日以降 節分祭の後片付け  
翌日以降テントなどの撤収、火  
焼神事の後処理(不燃物の選別と  
灰土の処理)をします。

平成二十四年「歌会始」御題「岸」

御製

帰り来るを立ちて待てるに季のなく岸とふ文字を歳時記に見ず

皇后陛下御歌

とき

新春恒例の「歌会始」の御儀が一月十二日午前皇居の正殿「松の間」でおこなわれました。今年は国内外から十八、八三〇首の詠進歌が寄せられたそうです。宮中の新年行事の最後を締めくくる「歌会始」は、古くは「歌御会」といい、鎌倉時代中期龜山天皇の文永四年(一八六九年)一月十五日に「内裏御会始」が行われた 것입니다。一般的の詠進が認められたのは明治七年、特に優れたもののを選歌として披講されるようになつたのが明治十二年、現在のような「歌会始」の形に定着したのは、昭和三年からといわれます。皇室と国民を繋ぐ「歌会始」に参加してみませんか。

来年の歌会始詠進要項(抜粋)

お題は「立」ですが、「立」の文字が詠みこまれていれば「立志」「立春」のような熟語、また「立つ」「立ち上がる」のように訓読ても差し支えありません。

「立」

- ①お題を詠み込んでいない場合。

(元)「丁一〇〇一八一一宮内庁宛郵便の場合は、消印が九月三十日までのものを有効とします。

五、郵便のあて先  
詠進要項によらない場合。  
郵便の場合は、「無職」と書いて下さい。(以前に職業に就いたことがある場合は、なるべくもとの職業を書いて下さい。

六、疑問がある場合は、直接、宮内庁式部職あてに、郵便番号、住所、氏名を書き返信用切手を貼った封筒を添えて、九月二十日までにお問い合わせて下さい。

一、正月奉納酒	株	喜々津代行車殿	中村 晋
二、鏡餅一重・初穂料	株	徳永建設	前山 弘
三、初穂料	株	尾興一郎殿	石丸義雄殿
四、正月奉納酒	株	野士朗殿	前田商店殿

新年を迎えるに当たり以下の通り奉納を賜りました。篤く御礼を申し上げます。また毎月境内の掃除をしていただく老人会誠会の皆様に感謝を申し上げます。

☆パズル当選者☆

前号(五三)の第二〇回パズルの答えは、「テマリウタ」でした。多数のご応募をいただきありがとうございました。当選者は、左記の通りです。

《敬称略》

田尻悦則(市布)、今井たづ子(サイド)、大我香子(久山町)、鶴崎佳奈(匂)、岩崎俊祐(つじヶ丘)、田島泰子(化屋)、渡部由紀子(若葉町)、熊本花梨(佐世保市)、片山令子(シーサイド)、橋本佳子(化屋)

以上